

第3次銚田市生涯学習推進計画

【改訂版】

2023~2027

人・自然・歴史・文化を活かす
喜びと生きがいに満ちた生涯学習のまち
銚田



令和5年3月



銚田市

ごあいさつ



銚田市では、『「いのち」と「暮らし」の先進都市
～自然を尊び、農を誇り、喜びを生みだす 21 世紀
のまち 銚田～』をまちづくりの将来像とする第 2 次
銚田市総合計画のもと、市民一人ひとりが、学びたい
ときに学び、それを活かし、つないでいくことができ
るように、「人・自然・歴史・文化を活かす喜びと生
きがい」に満ちた生涯学習のまち 銚田」を目指し、生

涯学習の推進に取り組んで参りました。

銚田市においても、少子高齢化による人口減少や、新型コロナウイルス感染症対
策、併せて SDGs に代表される環境問題・差別・貧困・人権問題等への対応など
我々を取り巻く環境も大きく変化しております。

このような中、2018 年度から 2022 年度末を計画期間として策定した「第 3
次銚田市生涯学習推進計画」を、銚田市の上位計画である「第 2 次銚田市総合計
画後期基本計画」及び「第 3 期銚田市教育振興基本計画」に沿って、更なる生涯
学習施策を展開するため、計画期間を延長した「第 3 次銚田市生涯学習推進計画
【改訂版】」を策定しました。

本計画では、誰もが気軽に、身近に学ぶことができるよう、多様な学びの機会
の提供や、情報の提供の充実を図ります。「行ってみたい、住んでみたい、住んで良
かった、住み続けたい」と思っていただけ銚田市の魅力を配信し、生涯学習の推
進に取り組んでまいりますので、皆様のご理解と積極的な参加をお願い申し上げ
ます。

結びに、この計画の策定にあたり、ご意見、ご指導、ご協力をいただきました全
ての関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和 5 年 3 月

銚田市長 **岸 田 一 夫**

も く じ

第 1 章 計画の概要	1
1 計画策定の背景と趣旨	1
2 国や県の動向	2
3 第 3 次生涯学習推進計画における課題	2
4 計画の位置づけ	3
5 計画の期間	3
第 2 章 生涯学習推進の基本方針	4
1 目指す姿	4
2 基本目標	5
3 計画の体系	6
第 3 章 生涯学習推進のための施策	7
基本目標 1 ライフステージに応じた学習機会をつむぐ	7
施策 1 子育て・家庭教育の支援	8
施策 2 青少年のための学習の充実	13
施策 3 成人のための学習機会の提供	22
施策 4 高齢期のための学習機会の提供	24
基本目標 2 生きがいと豊かな心をつむぐ	27
施策 1 健康に関する学習の推進	28
施策 2 スポーツに楽しむ機会の提供	30
施策 3 芸術文化に関する学習機会の提供	33
基本目標 3 地域社会と学習活動をつむぐ	35
施策 1 歴史・文化・自然を理解する機会の提供	36
施策 2 社会参加・地域活動の促進	40
施策 3 暮らしに関する学習機会の提供	43
基本目標 4 市民の学びと情報をつむぐ	48
施策 1 成果を活かす機会の充実	49
施策 2 相談体制と学習情報提供の充実	50
施策 3 生涯学習関連施設の充実	52
第 4 章 計画の推進体制と進捗管理	54
1 計画の推進体制	54
2 計画の進捗管理	54
資料編	
1 銚田市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱	55
2 銚田市生涯学習推進計画策定委員名簿	56

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と趣旨

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大を始め、グローバル化の進展、通信情報技術の発達、人口減少・少子高齢化等など、人びとを取り巻く環境は大きく変わってきています。

平成30年12月、文部科学省の中央教育審議会における「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」では、社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」という理念が示されました。

市では、『「いのち」と「暮らし」の先進都市 ～自然を尊び、農を誇り、喜びを生みだす 21世紀のまち 鉾田～』をまちづくりの将来像とする第2次鉾田市総合計画のもと、生涯学習の推進のため学習機会の拡充、情報の提供、社会教育関係団体への支援、社会教育施設の充実に取り組み、生涯学習社会の構築に向け積極的に施策を展開してきました。

こうした背景のなか、第3次鉾田市生涯学習推進計画の計画期間が終了することから、上位計画である「第2次鉾田市総合計画後期基本計画」、「第3期鉾田市教育振興基本計画」に沿って、「第3次鉾田市生涯学習推進計画」の成果を検証し、その検証結果をもとに新たな期待・視点を踏まえ、生涯学習施策を展開するため、計画の期間を5年延長することとし、令和5年度から令和9年度までの「第3次鉾田市生涯学習推進計画【改訂版】」を策定しました。

2 国や県の動向

国では、令和2年9月の中央教育審議会生涯学習分科会における「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」において、新しい時代の生涯学習の広がりと充実に向けて、「新しい時代の学び方の在り方」「命を守る生涯学習・社会教育」の重要性が示されました。

また、県では、国の施策にあわせた生涯学習の推進を行うため、第14期茨城県生涯学習審議会及び茨城県社会教育委員会議の報告を受け、これからの生涯学習において県民一人ひとりの生涯学習の取組を個人の成長と地域社会の発展につなげ好循環をうむことが必要になってくることから、県における10年後の教育のあるべき姿を見据えて、「茨城県生涯学習推進指針」を策定しました。

「ひとつづくり ～生涯にわたり主体的に学ぶ人材育成」

「つながりづくり ～学びを生かすつながりづくり」

「地域づくり ～持続可能な地域づくり」

にチャレンジする生涯学習

3 第3次生涯学習推進計画における課題

第3次生涯学習推進計画では、第2次計画の施策や方向性を継続し、施策の展開を図ってきました。その施策を推進する中で、各事業を点検評価した中から見えた課題を整理し、次年度の事業に反映させ、「人・自然・歴史・文化を活かす喜びと生きがいに満ちた生涯学習のまち 鉾田」を目指しました。市民の主体的な学習活動を基本として、市民と行政が互いに出来ることを協働して生涯学習活動を推進するため、多様な市民活動、そうした活動を支援する事業が行われています。

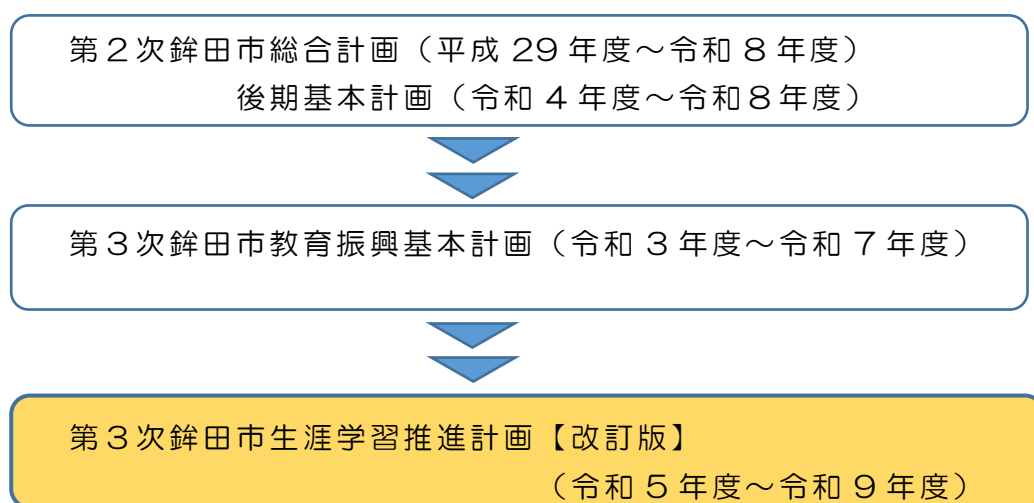
事業の評価から見える主な課題としては、ライフステージに応じた学習機会については、おおむね達成できたものの、発表会の機会の提供や、講習会などについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りに進むことができないという結果が表れています。さらに、各事業において参加者が減少傾向にあるという結果も表れています。

今後の生涯学習の在り方について再考する必要があることなどから、第3次計画【改訂版】の策定では、これまでの各施策、事業の評価内容を検討し、課題を整理した中で、対策を検討し生涯学習機会の充実、周知の強化を図っていきます。

4 計画の位置づけ

本計画は、第2次銚田市総合計画に基づき、子どもから大人まで、誰もが学び、成長していくために、家庭教育、学校教育、社会教育や社会施設の充実をはじめ、文化振興、スポーツ振興や地域資源を生かした生涯学習社会を築いていこうとするものであり、今後、市が取り組むべき生涯学習全般の施策の基本方針となります。

銚田市の上位計画である「第2次銚田市総合計画後期基本計画」、教育部門における中心的な計画である「第3期銚田市教育振興基本計画」との整合性を踏まえ、「第3次銚田市生涯学習推進計画」の成果を検証し、その検証結果をもとに新たな期待・視点を踏まえ、生涯学習推進のための計画として策定しています



5 計画の期間

本計画は、2023年度から2027年度までの5年間とします。

また、本計画は、社会情勢の変化による必要課題への確に対応するため、必要に応じて見直しを行い、市民のニーズに合った施策を展開します。

年 度	2023 令和5年	2024 令和6年	2025 令和7年	2026 令和8年	2027 令和9年
第2次 総合計画後期基本計画	→				
第3次 教育振興基本計画	→				
第3次 生涯学習推進計画【改訂版】	5年間 →				

※上位計画である「第2次銚田市総合計画後期基本計画」及び、「第3期銚田市教育振興基本計画」との整合性を図るため、計画期間を延長するものです。

第2章 生涯学習推進の基本方針

1 目指す姿

「生涯学習社会」とは、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」（平成4年生涯学習審議会答申）ような社会であるとされています。平成18年12月に可決・成立した改正教育基本法第3条において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、「生涯学習の理念」として、生涯学習社会の実現に努めることが規定されています。

本計画では、急速に進む少子高齢化や高度情報化、ライフスタイルの多様化を踏まえ、市民一人ひとりのニーズに応じ、自主的に学べる機会を提供します。年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが学べる機会の充実を図ります。

また、誰もが気軽に、身近に学ぶことができるよう、生涯学習に関する情報の提供の充実を図ります。多様な学びの機会を提供するために、生涯学習関連施設の整備・充実にも取り組みます。

さらに、生涯学習をとおして学んだ成果を、自己実現に加えて、他者、地域に還元し、地域の活性化やコミュニティづくり、課題解決に生かせる機会を提供することで、市民同士が相互に学び、支え合う学びを軸としたまちを目指します。

こういったことを踏まえて、市では、社会の変化に対応しながら、市民一人ひとりが、学びたいときに学び、それを活かし、つないでいくことができるように、第3次銚田市生涯学習推進計画の目指す姿「人・自然・歴史・文化を活かす 喜びと生きがい満ちた 生涯学習のまち 銚田」を継続していきます。



人・自然・歴史・文化を活かす

喜びと生きがい満ちた

生涯学習のまち 銚田

本計画の施策に対する満足度を把握する目安として、銚田市民満足度調査による数値の変化を確認することにより、施策の検証・評価を行います。

また、指標のみで図ることのできない各目標に対する、定性的評価も併せて実施します。

No.	指標	目標	直近値（2021年度）
1	生涯学習の施策に対する満足度		29.4%
2	生涯学習の機会に関する満足度		19.5%

2 基本目標

本計画は、第3次銚田市生涯学習推進計画の改訂版であるため、第3次銚田市生涯学習推進計画で掲げた4つの基本目標を踏襲します。

4つの基本目標を掲げました。

基本目標1 ライフステージに応じた学習機会をつむぐ

子どもから高齢者までの誰もが学び成長していく過程で参加できる、学習機会を提供します。

また、市民一人ひとりが、互いの人権を尊重しながら、学習を通して、地域社会の一員として相互支援を育む学習を支援します。

基本目標2 生きがいと豊かな心をつむぐ

市民一人ひとりの個性を尊重し、豊かな地域資源や人材を活かした学習活動を通じて、自己の資質の向上と、思いやりある心の豊かさを求める学習活動を支援します。また、学習を通して、学ぶことの楽しさや生きがいを共有できる場を提供します。

基本目標3 地域社会と学習活動をつむぐ

生涯学習の主役は市民であることを基本として、市民自らが地域社会を育てるという意識を持って、生活の向上と豊かな地域社会づくりに取り組むための学習活動を支援します。

また、学習で得た知識や自分の持つ技能・特性を活かし、地域の活動に積極的に参加し、生活を豊かにしていくための環境づくりを推進します。

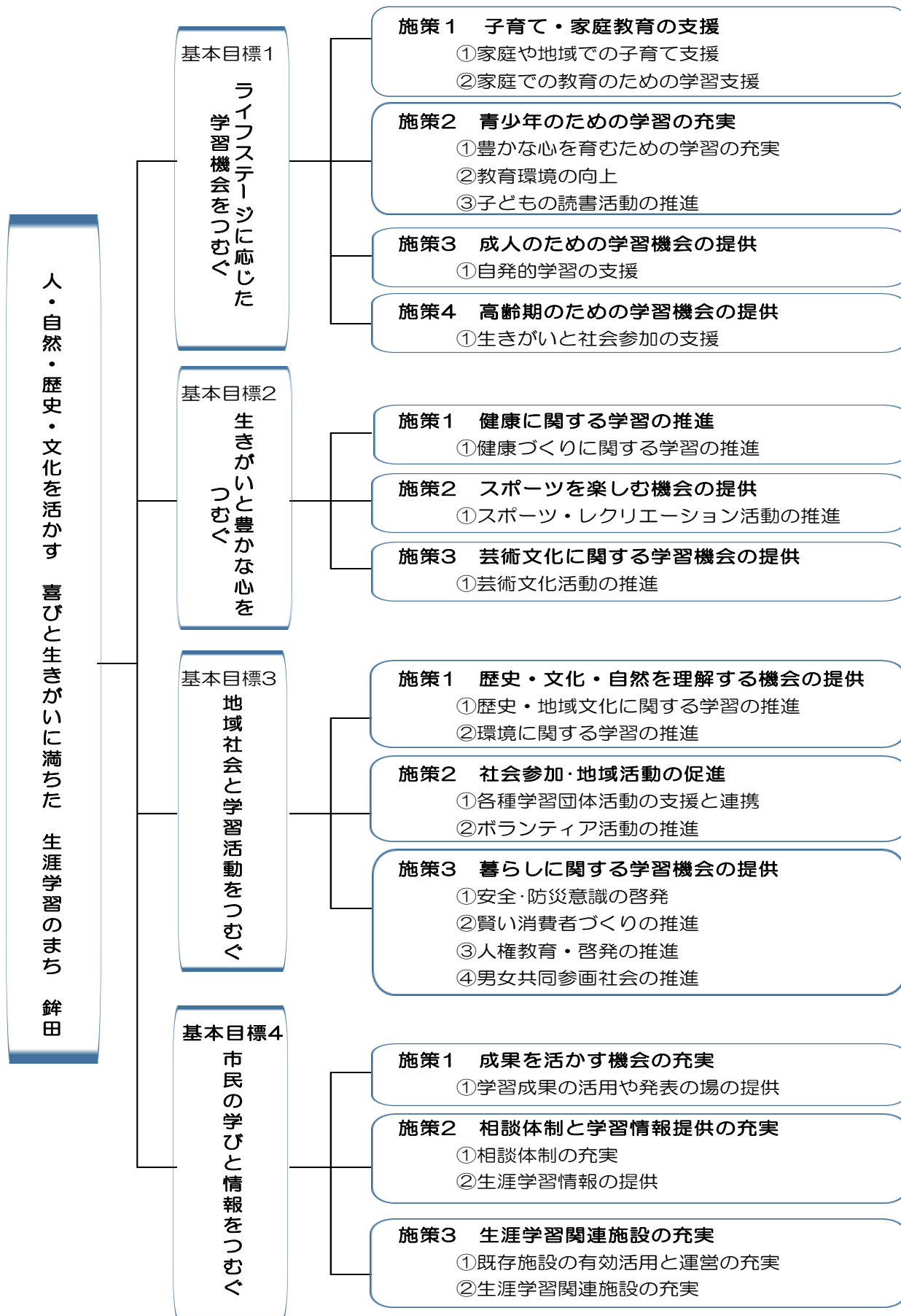
基本目標4 市民の学びと情報をつむぐ

生涯学習の機会は、多岐にわたります。そのため、市民が望む学習動向を把握し、的確に対応することが必要です。また、市民の学習活動が活発になるためには、学習情報の入手が容易でなければなりません。

そのためにも、新しい情報媒体を取り入れながら学習情報の収集、提供及び相談体制を充実させ、情報提供の仕組みづくりを行います。

さらに、生涯学習施設等の充実にも努めていきます。

3 計画の体系



第3章 生涯学習推進のための施策

基本目標1 ライフステージに応じた学習機会をつむぐ

【現状と課題】

- 乳幼児期から小中学生期は心身の発達が著しく、豊かな人間性と社会性を身につける最も重要な時期といえます。核家族や少子化が進む中、子育ての悩みを共有することができず、不安を抱えている保護者は少なくありません。保護者が学習機会に参加することで、家庭教育に関する知識の向上とともに、相談する機会や仲間づくりにつながるように促進していく必要があります。子どもたちが豊かな心を育むことができるよう、子育て支援・家庭教育に関する学習の場を拡充し、家庭・地域の子育て力、教育力を高めていきます。
- 将来の担い手である青少年が社会的にも、職業的にも自立できるように育成するためには、様々な体験や活動から夢や希望を抱き、自分の将来をどのように考えることができるかが重要となります。青少年が明るく、思いやりの心を養いながら、自ら考え、判断し、行動できるよう支援していきます。
- 成人期における教育や学習活動は、自己の啓発や向上を図ろうとするもので、個人の学習意欲と自主性にゆだねるところが大きくなります。学習内容も幅広く、多様な学習方法、学習形態があり、その活動を支援するとともに、個々の成果（自己実現）と、その成果を地域還元するための支援をしていきます。
- 銚田市の65歳以上人口は令和4年4月1日現在16,328人で、高齢化率は34.7%と、全国や茨城県を上回っています。このような状況の下で、高齢化社会は高齢者自身に関わる事柄であると同時に、社会全体の将来に関わる課題とも言えます。高齢化社会に対応した生涯学習の視点から、高齢者の生きがいづくりにつながる講座や教室の内容充実を図るとともに、高齢者が持っている知識を活かし、地域との交流を通じて高齢者の生きがいづくりと地域活性化に努めていきます。

【施策の方向性】

- 子どもの健全な育成のために、保護者を対象とする学習機会を通して、子育てに関する知識の普及や意識啓発に努めます。保護者の孤立感は児童虐待の要因の一つとも言われることから、地域社会で見守り支えられるような家庭の教育力をサポートする体制の充実を図ります。
- 青少年の社会性・協調性を養うために、グループ活動や地域活動、青少年活動の推進を図り、青少年の健全育成に努めます。
- 次代を担う子どもたちが、“明日への力”を育むために、「郷土を愛する豊かな心」や「自ら問題解決する能力」、「たくましく生きるための健康と体力」などの生きる力を育成し、調和の取れた学校教育の充実を図ります。
- 市民が自由に集い、住み慣れた地域で、いつまでもいきいきと元気で暮らしていけるように、社会的自立や交流を支援するための学習の機会の充実を図ります。

【具体的な取組】

施策1 子育て・家庭教育の支援

①家庭や地域での子育て支援

No.	事業名	子育て世代包括支援センター	担当課	子ども家庭課
1	事業概要	妊娠・出産・子育てに係る悩みや疑問を持つ保護者や当事者を孤立させないよう、妊娠・出産・子育て期の保護者を対象に相談支援の強化を図る。		
	事業内容等	関係機関と連携し必要な情報を共有し切れ目ない支援を行うとともに、子育てハンドブック等を作成、活用し、情報提供を行い、育児の不安を緩和し、子育て支援を図る。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	相談件数	800 件	850 件	

No.	事業名	地域子育て支援センター	担当課	子ども家庭課 各保育所(園) 認定こども園
2	事業概要	子育て世帯の集いの場とし、親同士の情報交換や子育てに関する相談等を受け、子育てしやすい環境を整える。		
	事業内容等	公立の地域子育て支援センターを運営するとともに、民間事業者の事業の実施を推進する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	施設数	5 箇所	5 箇所	

No.	事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課	子ども家庭課
3	事業概要	多様化する保育ニーズ等に対応するため、育児相互援助活動を実施し、安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりの実現に資する。		
	事業内容等	相互援助の活動として地域の子育て支援を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用回数	45 回	105 回	

No.	事業名	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	担当課	子ども家庭課
4	事業概要	小学校に就学している児童を対象とし、保護者が労働等により、昼間家庭にいない場合、放課後の生活の場を提供し、適切な遊びを通して、児童の健全育成を図る。		
	事業内容等	公立の放課後児童クラブを実施するとともに、民間の同事業の運営を推進する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	利用児童数（定員）	480人	480人	

No.	事業名	乳児家庭全戸訪問事業	担当課	健康増進課
5	事業概要	出生後4か月未満の乳児のいる家庭を保健師等が全戸訪問し、育児不安の解消や母子の孤立の防止などを支援する。		
	事業内容等	保健師による全戸訪問を行う。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	訪問件数	99件	100件	

No.	事業名	オレンジルーム（MCG）	担当課	健康増進課
6	事業概要	育児不安や孤立しやすい環境にある母子を対象に、グループミーティングを通して悩みを共有し対処法を探り、不安の軽減や孤立感の解消を図る。		
	事業内容等	グループミーティング1教室6回、年2回開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	参加人数	3人	10人	

No.	事業名	母子保健事業	担当課	健康増進課
7	事業概要	発育発達の状況を確認し、異常の早期発見と保護者が安心して育児できるように支援する。		
	事業内容等	育児相談、離乳食相談、歯科相談、すこやか教室を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	育児相談開催回数	12回	12回	

No.	事業名	赤ちゃん教室	担当課	健康増進課
8	事業概要	タッチケアを通して赤ちゃんとのふれあいを学ぶ。また、子育てをする仲間作りを支援する。		
	事業内容等	ベビーマッサージ、産後体操を開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	第一子の母親の参加率	32.4%	40.0%	

No.	事業名	さくらんぼ教室	担当課	健康増進課
9	事業概要	心理指導員、保育士、保健師による発育・発達の相談、指導や親子遊びによる親子集団指導などを実施する。		
	事業内容等	集団であそび、運動をすることにより発達を促す。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	6回	12回	

No.	事業名	たんぽぽ教室	担当課	健康増進課
10	事業概要	集団生活での困りごとや不安のある児童や保護者を対象に、遊びや課題を通して集団生活に必要なスキルを身につけ、安心して就学が迎えられるよう支援する。		
	事業内容等	5歳児健康診査のフォローアップとして月1回開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	6回	12回	

No.	事業名	食に関する事業	担当課	健康増進課
11	事業概要	幼少期から食と健康に関する適切な食育を実施する。食に関する基本的な知識と実践力を身につける。		
	事業内容等	乳幼児・児童生徒及びその保護者を対象に、食の大切さについての講話や調理実習を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	食育教室の参加人数	1,981人	2,000人	

②家庭での教育のための学習支援

No.	事業名	父親の家庭教育への参加促進	担当課	生涯学習課
12	事業概要	父親参加の講演会の実施を通して、父親が家庭教育に関わっていくことへの理解促進を図れるよう支援する。		
	事業内容等	父親の参加率が高いPTA活動の機会をとらえ、父親の家庭での役割、大切さをテーマに講演会を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	講演会の実施回数	コロナ禍による中止	1回	

No.	事業名	家庭教育学級	担当課	生涯学習課
13	事業概要	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方について、保護者に啓発を図る機会をつくり、保護者同士の交流を図れるよう支援する。		
	事業内容等	幼稚園、小中学校ごとに家庭教育学級を開設する。家庭教育だよりを発行し、各幼稚園、小中学校の家庭教育学級生のほか、保育所（園）にも配付し、情報の共有を図る。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	651人	400人	



(家庭教育学級)

(学童期子育て講座)

No.	事業名	学童期子育て講座	担当課	生涯学習課
14	事業概要	保護者の心構え等情報発信や、保護者同士の交流を設定することで、就学前の保護者が抱える不安の解消を図る。		
	事業内容等	学童期子育て講座を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	306人	225人	

No.	事業名	訪問型家庭教育支援事業	担当課	生涯学習課
15	事業概要	地域での親子の孤立や、子育てに余裕のない家庭や子どもたちを地域で見守り支えるため、地域の支援員による相談支援の強化を図る。		
	事業内容等	訪問型家庭教育支援チームによる家庭への訪問を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	支援家庭改善率	61.5%	70.0%	



施策2 青少年のための学習の充実

①豊かな心を育むための学習の充実

No.	事業名	土曜教育活動事業	担当課	生涯学習課
16	事業概要	青少年の健全育成を図るため、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子どもたちに学習や様々な体験活動の機会を提供する。		
	事業内容等	自然体験活動や、文化芸術に関する体験活動を実施する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	参加者数	119人	120人	

No.	事業名	二十歳の集い（成人式事業）	担当課	生涯学習課
17	事業概要	人生の節目となる式典を、参加者が主体的に企画運営することにより社会人としての自覚と責任感の醸成を図る。		
	事業内容等	実行委員会を設置し、二十歳の集いを企画運営する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	実行委員数	35人	32人	

No.	事業名	薬物乱用防止活動	担当課	生涯学習課
18	事業概要	青少年に対し、喫煙を含めた薬物の乱用防止の啓発を推進し、心身の害の恐ろしさを理解させるとともに、関係機関との連携により未然防止に努める。		
	事業内容等	チラシ等による啓発活動を実施する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	啓発活動の実施回数	1回/年	1回/年	

No.	事業名	健康教育事業（思春期）	担当課	健康増進課
19	事業概要	小・中学生及び高校生を対象とした、命の大切さやこころと体の変化、プレコンセプションケアについて理解を深めます。		
	事業内容等	小・中学生及び高校生を対象とした思春期教室を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	思春期教室参加者数	1,650人	1,650人	

No.	事業名	人権教育の推進	担当課	指導課
20	事業概要	道徳や社会科、特別活動、学級活動などで道徳規範、社会規範、人命尊重、他者を思いやる心の教育など人権教育を推進する。		
	事業内容等	児童生徒が行う人権学習の活動を充実させるため、人権教育全体計画並びに推進計画の見直しを実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施校数	14 校	8 校	

No.	事業名	福祉体験支援事業	担当課	社会福祉協議会
21	事業概要	児童・生徒に福祉体験を通して「共に生きていく力」と、社会福祉に対する理解や関心を育て、地域社会の中で一人として成長するための学習支援を行う。		
	事業内容等	車いすや、アイマスク、点字等の体験教室を開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	体験者数 (延人数)	112 人	300 人	

No.	事業名	中学生海外派遣事業 (イングリッシュキャンプ事業)	担当課	生涯学習課
22	事業概要	中学生を対象とした海外派遣などを通して、異文化に触れ、コミュニケーション能力を高めるとともに、国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材の育成を推進する。		
	事業内容等	ホームステイや、英国を再現した施設環境の中で研修を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	派遣者数	13 人 (イングリッシュキャンプ事業)	16 人	

※イングリッシュキャンプ事業は中学生海外派遣事業の代替事業として実施しております。

No.	事業名	青少年教育	担当課	公民館
23	事業概要	豊かな心を持つ青少年育成のため、学校外活動の従事や親子の活動の機会を提供する。		
	事業内容等	公民館講座、教室を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	9 回	15 回	

②教育環境の向上

No.	事業名	総合的な学習の時間	担当課	指導課
24	事業概要	体験活動や問題解決的活動を取り入れ総合的な学習の充実を図る。地域の実態や自分自身の生活から解決すべき課題をよりよく解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成に努める。		
	事業内容等	ICT 機器を適切かつ効果的に活用した学習を充実させ、全児童生徒が目的や社会の変化に合わせて活用できるようにする。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	活用できる児童生徒の割合	100%	100%	

No.	事業名	職場体験及び農業体験の推進	担当課	指導課・関係課
25	事業概要	職場体験等を通して、児童生徒の職業に関する基礎的な知識や技術・技能の習得への関心を高め、望ましい勤労観、職業観の育成を図る。また、農業体験活動を通して、将来の本市の農業を担う人材の確保につなげる。		
	事業内容等	職場体験、農業体験を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施校数	13 校	8 校	

No.	事業名	ことばの教育	担当課	指導課
26	事業概要	言語能力の発達に遅れが見られる幼児・児童について、早期発見・指導を行うとともに、保護者の相談を受けることで、問題の早期改善につなげる。		
	事業内容等	ことばの教室を設置し、幼児・児童への指導と保護者の相談を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	設置日数	3日/週	3日/週	

No.	事業名	のびのび児童生徒推進事業	担当課	指導課
27	事業概要	適応指導教室設置や、相談員、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣など児童生徒の心のケア、保護者や教職員に対して相談業務を行う。		
	事業内容等	適応指導教室の設置、SC・SSWを各学校へ派遣することで、児童生徒の心のケアを行う。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	SC・SSW 派遣校	14 校	8 校	

No.	事業名	子供の輝く未来創造事業	担当課	指導課
28	事業概要	土曜日（10月から2月まで）に各中学校へ講師を配置し、学びの場となる土曜スクールを開校し、中学3年生に対して、学習機会を提供する。		
	事業内容等	土曜スクールを開校する。		
新規	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	開校数	4 校	4 校	



（子供の輝く未来創造事業）

No.	事業名	防災訓練	担当課	教育総務課 危機管理室 各学校
29	事業概要	学校などにおける避難訓練を通して、災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする機会を提供する。		
	事業内容等	消防団等の協力を得て、防災訓練を行う。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	実施校数	14 校 4 園	8 校 4 園	

No.	事業名	情報教育の推進	担当課	教育総務課
30	事業概要	情報通信技術を活用して、一斉指導による学びに加え、子供たち一人ひとりの能力や特性に応じた学びや、子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学びを推進する。		
	事業内容等	情報機器に触れ、慣れ親しむことで、情報活用能力を育成する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	児童生徒用タブレット端末の配備率	—	100%	

No.	事業名	生活指導員配置事業	担当課	教育総務課
31	事業概要	生活指導員を配置することで特別な支援が必要な園児の日常生活の指導、支援を行い、園児の健全育成に寄与する。		
	事業内容等	生活指導員の配置して支援を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	生活指導員の充足率	100%	100%	

No.	事業名	食育の推進	担当課	健康増進課 学校給食センター
32	事業概要	食育を通じ、豊かな人間形成及び健康な食生活と食習慣の確立を図るとともに、地産地消を推進し、郷土理解や食生活改善に努める。		
	事業内容等	小・中学校を訪問し食育指導・講話等を実施する。 学校給食における地産地消を推進する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	地場産物使用割合	66.1%	80.0%	



No.	事業名	幼稚園・保育所（園）・認定こども園と小学校との交流	担当課	教育総務課 幼稚園 保育所（園） 認定こども園
33	事業概要	幼稚園と保育所（園）及び認定こども園に通う児童と小学生が交流を行うことにより、スムーズな就学期に移行できる環境づくりに寄与する。		
	事業内容等	小学校との交流会を実施する。		
継続	指標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	実施園数	12園	12園	



（幼稚園・保育所（園）・認定こども園と小学校との交流）

③子どもの読書活動の推進

No.	事業名	みんなにすすめたい一冊の本推進事業	担当課	指導課
34	事業概要	児童生徒の読書意欲を高めるため、読書に積極的に取り組んだ児童生徒を表彰し、家庭や地域の協力を得ながら、読書の楽しさや喜びを広げていくことを推進する。 (表彰:1年間に小学生(4~6年)50冊、中学生30冊達成者)		
	事業内容等	読書に積極的に取り組んだ児童生徒を表彰する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	年間読書冊数達成者(表彰者)割合	小学生:79.9% 中学生:40.8%	小学生:85% 中学生:45%	



No.	事業名	読書活動の推進	担当課	指導課
35	事業概要	子供の活字離れをなくし、読書の楽しみを実感させるとともに、語彙力と集中力を高める。さらには家庭における読書を推進する。		
	事業内容等	始業前の時間等を活用し読書活動を推進する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施校数	14校	8校	

No.	事業名	読み聞かせ活動	担当課	図書館 各学校
36	事業概要	ボランティア等による読み聞かせを通して、本に触れる機会を増やし、読書の楽しさを伝える。		
	事業内容等	ボランティアや図書館員による読み聞かせを実施する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	4回	12回	

No.	事業名	ブックスタート事業	担当課	図書館
37	事業概要	赤ちゃんと保護者を対象に、絵本を開く楽しい体験を通し、心ふれあう機会を持つきっかけをつくる。		
	事業内容等	鉾田保健センターで実施される乳児健診後、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、絵本を贈る。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	配付率	99%	100%	



(ボランティアによる読み聞かせ)



(ブックスタートパック)

No.	事業名	図書情報の提供	担当課	図書館
38	事業概要	市の広報やホームページ、SNS を活用した図書情報の提供、新刊図書及び時節に合った図書の企画コーナーを設けるなど利用促進を図る。		
	事業内容等	図書情報の提供、企画コーナーを設置する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	入館者数	34,079 人	45,000 人	



No.	事業名	図書館展示	担当課	図書館
39	事業概要	各種文化活動の場を提供し、広く市民に芸術文化の普及発展を図る。		
	事業内容等	展示会を開催する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	4 回	8 回	

No.	事業名	図書館の資料の充実	担当課	図書館
40	事業概要	生涯学習の拠点施設として、魅力ある蔵書構成を目指す。		
	事業内容等	市民ニーズを踏まえ広範囲な分野の資料を収集するとともに、継続した資料の更新を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	貸出者数	18,054 人	25,000 人	

No.	事業名	図書館と学校との連携	担当課	図書館 各学校
41	事業概要	小中学校において図書館の本を利用できる環境をつくることにより、読書環境の充実及び利便性の向上を図る。		
	事業内容等	図書館コーナー用図書及び授業の補助教材用図書を選書し配本する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	配本回数	—	20 回	



No.	事業名	県内公立図書館との連携	担当課	図書館
42	事業概要	県立図書館をはじめ県内公共図書館等との連携によりサービスの充実を図る。		
	事業内容等	相互貸借を活用し、市民が求める資料をできる限り提供できるように努め、読書意欲に応える。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	貸出者数	18,054 人	25,000 人	

施策3 成人のための学習機会の提供

①自発的学習の支援

No.	事業名	成人教育	担当課	公民館
43	事業概要	知識・教養を身に付け、文化活動を通し人間性豊かな地域社会での生きがいづくりを推進する。		
	事業内容等	公民館講座、教室を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	20回	30回	

No.	事業名	文化講演会	担当課	公民館
44	事業概要	著名人等の文化的な話を聞くことにより、知識・教養を身に付ける場を提供する。		
	事業内容等	文化講演会を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	来場者数	コロナ禍による中止	200人	

No.	事業名	公民館クラブ活動の支援	担当課	公民館
45	事業概要	多様な文化活動を行う団体を支援する。		
	事業内容等	クラブ活動の広報、発表の場の調整を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	クラブ数	124団体	124団体	

No.	事業名	社会福祉大会	担当課	社会福祉協議会
46	事業概要	社会福祉大会を開催し、福祉意識の高揚に努める。併せて、講演会を実施し、福祉に関して考える機会と、意識の高揚を図る。		
	事業内容等	福祉功労者への表彰、講演会を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	コロナ禍による中止	280人	

No.	事業名	地域栄養改善事業（講習会等）	担当課	健康増進課
47	事業概要	ライフスタイルの変化に伴い食習慣の変化、多様化に的確に対応しながら、ライフステージに合わせて、家族の健康を含めた健康に関する基礎知識の普及や、生活習慣病をはじめとする疾病予防のための食生活を推進する。		
	事業内容等	各地区の食生活改善推進員と連携し、食を通じた健康づくりの地域活動を推進する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	伝達講習会の開催回数	9回	15回	



（地域栄養改善事業（講習会等））

No.	事業名	県・鹿行生涯学習センターとの連携	担当課	生涯学習課
48	事業概要	県の生涯学習情報提供システムを活用し、生涯学習関連事業の情報提供や事業連携を図る。		
	事業内容等	県に登録している講師を活用し、市民のニーズに合わせた事業を展開していく。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	講座実施回数	30回	30回	

No.	事業名	ボランティア講座	担当課	社会福祉協議会
49	事業概要	講習会を実施し、ボランティアの人材発掘及び福祉活動の啓発を行う。また、点字、手話、音訳、傾聴や災害等の講習会を実施し、人材の発掘と資質の向上を図る。		
	事業内容等	ボランティア講習会を実施する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	参加者数（延人数）	15人	80人	

No.21	事業名	福祉体験支援事業【再掲】	ページ	P.14
-------	-----	--------------	-----	------

施策4 高齢期のための学習機会の提供

①生きがいと社会参加の支援

No.	事業名	高齢者教育	担当課	公民館
50	事業概要	高齢期を健康で生き生きと過ごせるよう生きがいづくりを推進する。		
	事業内容等	いきいき大学、高砂大学、寿大学等を開催する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	コロナ禍による中止	381人	



(いきいき大学)



(高砂大学)



(寿大学)

No.	事業名	シニアクラブ活動の支援	担当課	介護保険課 社会福祉協議会
51	事業概要	市シニアクラブ連合会が行うスポーツ活動等を支援し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。		
	事業内容等	スポーツ大会を開催する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	コロナ禍による中止	250人	



(シニアクラブ活動の支援)



No.	事業名	老人福祉施設の利用促進	担当課	社会福祉協議会
52	事業概要	介護予防の拠点介護予防事業の参加者や施設利用者の生きがいと健康増進を図る。		
	事業内容等	陽だまりサロン、いきいきヘルス体操などを実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数 (延人数)	13,843 人	15,000 人	

No.	事業名	ふれあいいきいきサロン	担当課	社会福祉協議会
53	事業概要	地域で高齢者が孤立しないよう、ふれあえる場所の提供を図り、高齢者の健康増進、引きこもりの解消に努める。		
	事業内容等	サロンの開催支援を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数 (延人数)	3,310 人	4,000 人	



(ふれあいいきいきサロン)

No.	事業名	老人福祉事業 (シルバー人材センター運営補助)	担当課	介護保険課 社会福祉協議会
54	事業概要	健康で働く意欲のある高齢者の受け皿となり、その労働力等により社会の活力を維持し、会員自身の健康や生きがいにもつながるシルバー人材センター事業を支援して、高齢者の就労支援や社会参加の促進を図る。		
	事業内容等	高齢者の就労支援を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	会員数	276 人	276 人	

No.	事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	担当課	介護保険課
55	事業概要	地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、様々なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対して効果的・効率的な支援等を可能としていく。		
	事業内容等	起き楽広場など介護予防事業を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	起き楽広場参加人数	397 人	1,000 人	



基本目標2 生きがいと豊かな心をつむぐ

【現状と課題】

- 少子高齢化社会の到来を見据えた中で、健康寿命の延伸に効果的な運動の習慣化を図るとともに、地域住民の多様な健康状態やニーズに応じた健康増進により健康長寿社会の実現を図ることは最重要課題となっています。生涯を通じて誰もが健康で生き生きとした生活が営めるよう、市民のライフステージに合わせた健康教育や健康相談など、健康づくり事業の充実に努めます。
- 生涯スポーツとは、健康の保持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも気軽にスポーツに参加できるスポーツのことをいいます。自分のライフスタイルや興味に応じてスポーツに取り組むことは、健康の保持増進に加え、毎日の充実や生きがいに結びつきます。市民の健康づくりをはじめ、市民同士の交流や市全体の一体化につながるよう、スポーツやレクリエーション活動に参加できる機会を提供し、生涯スポーツの振興を図ります。また、地域や年代に応じた多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため指導者の育成に努めます。
- 文化活動は、一人ひとりの自主性や創造性の尊重、自由に表現できる権利のもとに行われる精神的活動といえることから、その活動を鑑賞することや参加する機会を創出することは重要です。芸術文化活動への参加及び芸術文化の鑑賞の機会を多く市民に提供し、芸術文化に対する理解を深め、文化意識の向上を図って行きます。

【施策の方向性】

- 国・県の健康増進計画及び銚田市健康増進計画・食育推進計画に基づき、誰もが住み慣れた地域でお互いに支え合い、健康でいつまでも元気に生きがいを持って暮らしていけるような取り組みを展開して行きます。
- 各種スポーツイベントを開催し、市民同士の交流やスポーツに触れ合える機会を提供することにより、市民の健康意識向上及び健康増進を図り、スポーツの振興を推進していきます。
- 多くの市民が気軽に幅広くスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境や観戦、ボランティアとして参加する環境の構築を図るため、情報の発信や施設の整備を進めます。
- 市民が等しく芸術文化を鑑賞、参加、創造することができる機会の充実に努めます。
- 地域の各文化団体と連携を図り、市民が身近に文化活動にふれ、気軽に参加できるよう機会の創出と団体の育成・支援に努めます。

【具体的な取組】

施策1 健康に関する学習の推進

①健康づくりに関する学習の推進

No.	事業名	健康増進事業（健康づくり教室）	担当課	健康増進課
56	事業概要	健康づくりの基本である運動に対する市民の意識を高め、日常生活において健康的な生活習慣づくりができるよう支援する。		
	事業内容等	からだスッキリ教室、体カアップ教室を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	からだスッキリ教室参加者数	96人	190人	

No.	事業名	ウォーキングの普及・啓発	担当課	健康増進課 健康づくり財団
57	事業概要	生活習慣病の原因となる「肥満」を予防するため、生涯を通じてできるウォーキングの普及啓発を図る。		
	事業内容等	ウォーキング大会を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	ウォーキング大会参加者数	53人	200人	

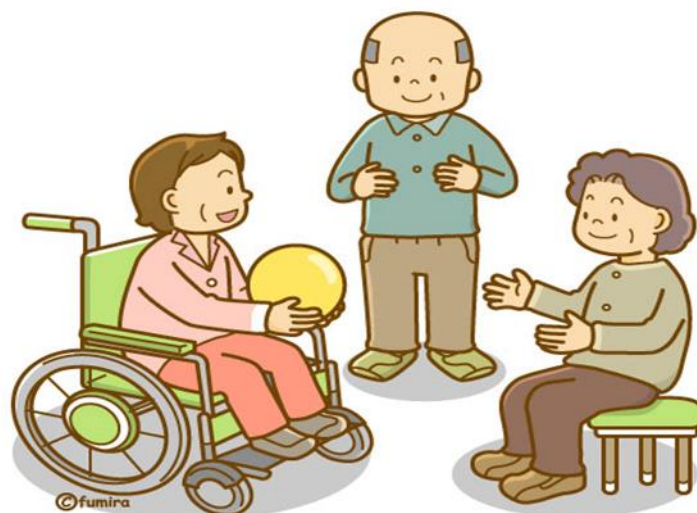


（ウォーキング大会）

No.	事業名	健康増進施設の有効活用	担当課	健康増進課
58	事業概要	ほっとパーク銚田、とっぴさんて大洋の利用増進及び有効活用を図ることで、市民の心身の健康増進につなげる。		
	事業内容等	体カアップ教室を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	体カアップセミナー参加者数	44人	60人	

No.	事業名	医療情報の提供	担当課	健康増進課
59	事業概要	市広報やインターネットなどにより、広域的かつ適切な医療情報の発信を図る。		
	事業内容等	休日診療当番医、救急電話相談を広報等に掲載する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	情報の配信回数	12回	12回	

No.	事業名	シルバーリハビリ体操の推進	担当課	介護保険課
60	事業概要	シルバーリハビリ体操指導士の養成を支援するとともに、地域の高齢者が地域の高齢者を支える相互の支援体制の構築する。		
	事業内容等	シルバーリハビリ体操指導士の養成を支援する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	指導者養成者数	4人	20人	



施策2 スポーツを楽しむ機会の提供

①スポーツ・レクリエーション活動の推進

No.	事業名	イベント大会の開催	担当課	生涯学習課
61	事業概要	各種体験教室や大会を開催することにより、市民同士の交流やスポーツに触れ合える機会を提供する。		
	事業内容等	各種スポーツ教室・スポーツ大会等を開催する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	参加者数	146人	1,000人	



(スポーツ・レクリエーション大会)



(体力測定)



(スポーツ体験教室)



No.	事業名	スポーツ活動支援	担当課	生涯学習課
62	事業概要	各種団体への支援等を通じて、自主的・自発的なスポーツ・レクリエーション活動を促し、活力ある社会の実現につなげる。		
	事業内容等	スポーツ協会・スポーツ少年団などへの支援を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	スポーツ少年団登録者数	577人	550人	

No.	事業名	スポーツライミング推進事業	担当課	生涯学習課
63	事業概要	スポーツライミングセンターを活用し、体験教室や競技会、使用資格講習会を開催し、スポーツライミングの拠点づくりを目指すとともに、スポーツライミングの魅力発信に努める。		
	事業内容等	体験教室や競技会、使用資格講習会を開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数	2,244 人	4,000 人	



(銚田で登り隊！)



(メロンカップ)



(ユースフューチャーカップ)

No.	事業名	指導者の育成	担当課	生涯学習課
64	事業概要	地域や年代に応じた多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、指導者講習会を開催し、指導者の育成に努める。		
	事業内容等	指導者講習会を開催するとともに、開催情報の提供を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	講習会参加者数	60 人	90 人	

No.	事業名	体育施設管理事業	担当課	生涯学習課
65	事業概要	市民が身近にスポーツに親しむことができるよう運動施設の利用促進に向けて、施設の保全と維持管理及び、施設の機能充実を図る。		
	事業内容等	銚田総合公園、旭スポーツセンター、くぬぎの森スポーツ公園など、市内体育施設を適正に維持管理する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数	91,927 人	181,000 人	

No.	事業名	学校施設の開放	担当課	教育総務課 生涯学習課
66	事業概要	小中学校の校庭や体育館を開放し、社会体育の普及並びに団体が行うスポーツ及びレクリエーションの活動などの普及を図る。		
	事業内容等	小中学校の校庭、体育館の開放を行う。		
継 続	指 標	現 状 値 (R3)	目 標 値 (R9)	
	施設開放数	開校 14 校 閉校 9 校	開校 8 校 閉校 13 校	

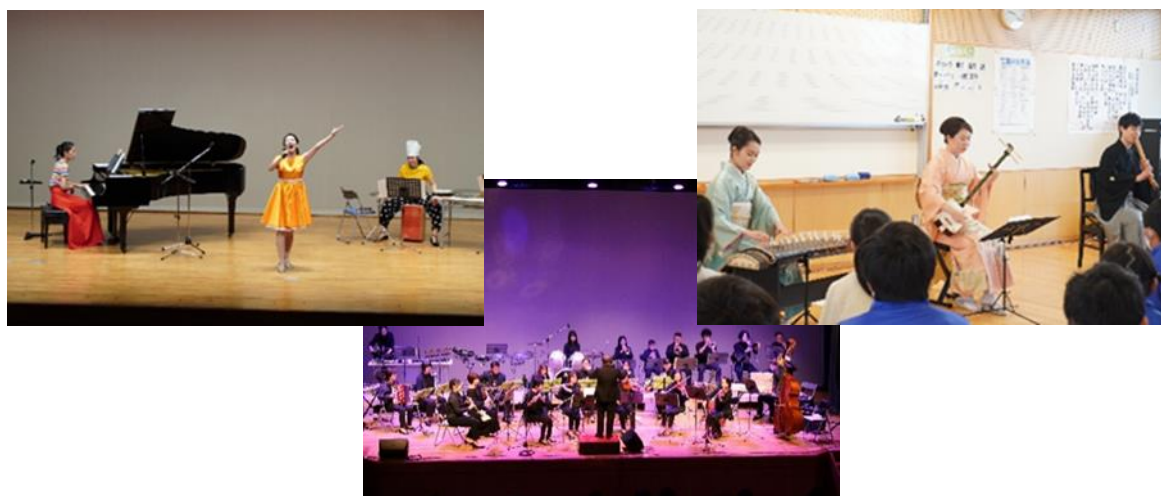


No.51	事業名	シニアクラブ活動の支援【再掲】	ページ	P.24
-------	-----	-----------------	-----	------

施策3 芸術文化に関する学習機会の提供

① 文化芸術活動の振興

No.	事業名	芸術文化創造事業	担当課	公民館
67	事業概要	芸術文化活動に参加する機会の提供を図るとともに、市民自らが実施する様々な活動の中で、新たなコミュニティづくりに寄与する。		
	事業内容等	市民が多様な文化に触れる機会を創出するため、芸術文化鑑賞事業、音楽アウトリーチ事業等を実施する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	来場者アンケート満足度	コロナ禍による中止	85%	



No.	事業名	芸術文化団体の支援	担当課	公民館
68	事業概要	市民が主体的に設立した芸術文化団体を支援し、市民レベルでの活動を活性化させ、芸術文化の振興を図る。		
	事業内容等	市民ミュージカル劇団、市民合奏団、市民合唱団等の支援を行うほか、芸術文化団体が行う事業に対し補助金を交付する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	活動支援団体数	コロナ禍による中止	5団体	

No.	事業名	銚田市美術展覧会	担当課	公民館
69	事業概要	市の美術文化の向上と発展を目指し、芸術文化に対する意欲的な創作発表を奨励する。		
	事業内容等	広く一般から募集した作品を展示することによって、市民に美術鑑賞の機会を提供する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	出品点数	コロナ禍による中止	180点	

No.	事業名	文化財保護・啓発事業	担当課	生涯学習課
70	事業概要	国・県・市指定文化財の保護、保存、活用や市内遺跡の保護、保存を図る。市民に対し、文化財保護意識の啓発を図る。 また、展示施設を活用して市民の知る機会の創出に取り組む。		
	事業内容等	所有者が行う保存行為を支援する。また、県と合同で文化財の巡視を行う。遺物の展示や学校への貸出を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	文化財巡視回数	2回	2回	



(天然記念物 ヒサカキ)



(無形民俗文化財 銚田囃子)

No.44	事業名	文化講演会【再掲】	ページ	P.22
-------	-----	-----------	-----	------

基本目標 3 地域社会と学習活動をつむぐ

【現状と課題】

- 家族形態の変化や、地域コミュニティの希薄化により、子どもたちの地域との関わりや地元への愛着心、郷土愛も希薄化する傾向にあり、郷土を知り、関心を持つ機会が少なくなっています。歴史や地域文化に対する理解を深めていくことは、郷土を愛する豊かな心を育むためにも重要です。そのため、文化財の保護意識や郷土芸能などの伝統行事を保存・継承していく取り組みが必要となります。また、豊かな恵みをもたらす美しい海、湖沼、平地林などを後世に伝えるため、環境保全の取り組みも重要となります。より多くの市民が歴史・文化や環境問題に対して関心が持てるよう、学習や活動する機会の創出に努めます。
- 市民によりさまざまな活動が行われており、自発的に活動することが生涯学習の基本となります。この市民の活動を支援するため、地域におけるボランティア活動の活性化や自治意識醸成のための情報提供に努めるとともに、誰もが時間のある時に気軽に参加できるような環境づくりを進めます。
- 社会の急激な変化に伴う住民同士の連帯感の欠如や人間関係の希薄化等により、地域教育力の低下や住民同士の結びつきが少なくなっているといわれています。東日本大震災以降、地震や、台風・集中豪雨による河川の氾濫、道路の冠水などへの防災の意識が高まっています。また、子どもや高齢者が巻き込まれる犯罪や事故も増えていることから、安心して生活できる知識も必要となっています。女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人など人権問題に対する社会的関心が高まりを見せています。そのため、災害時に対処した地域のきずなづくりや、高齢者が巻き込まれる事件や、人権問題など様々な課題を解決するための学習機会の提供を図ります。

【施策の方向性】

- 文化財を理解し、親しむ機会の充実を図り、その特性や保存に配慮しつつ、魅力を伝えることができるよう、文化財の公開・活用を積極的に推進します。
- 身近な地域の環境を理解する学習や、生活環境についての取り組みなどを通して、多くの市民に環境についての学習機会を提供します。
- 交通安全や防災などの安全・安心につながる学習や情報提供に努めます。
- 消費生活に関する情報の提供やトラブルに対する相談などにより、消費生活・生活設計の上で安心した暮らしに必要な学習の提供に努め、消費者行政の推進を図ります。
- すべての人が差別を受けることのない地域社会を目指し、人権尊重の視点に立った生涯学習の推進に努めます。各法令に基づき、人権尊重の意識を高める学習と啓発を推進します。
- 「鉾田市男女共同参画計画」に基づき、男女があらゆる分野において、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」に向けた学習と啓発を推進します。

【具体的な取組】

施策 1 歴史・文化・自然を理解する機会の提供

① 歴史・地域文化に関する学習の推進

No.	事業名	文化財の展示	担当課	生涯学習課
71	事業概要	地域の歴史や文化環境を形作る貴重な文化財や民具等を広く一般に公開し、保護意識を高める。		
	事業内容等	常設展示、企画展を行う。		
新規	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	企画展開催回数	—	3 回	

No.	事業名	とくしゅくの杜体験教室	担当課	生涯学習課
72	事業概要	子どもやその保護者を対象に昔の遊びや勾玉づくりなど体験事業を行い歴史に興味がわくようなきっかけづくりや親子のふれあいの場を提供する。		
	事業内容等	歴史・文化に触れる体験教室を開催する。		
新規	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	—	3 回	

No.	事業名	文化財警防訓練	担当課	生涯学習課 危機管理室
73	事業概要	文化財防火デーにあわせ、文化財を災害から守るための警防訓練を通して意識啓発を図る。所有者をはじめ、地元住民や地元消防団への文化財保護意識の高揚に努める。		
	事業内容等	市内の文化財を対象に、消防署、消防団の協力を得て、文化財警防訓練を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施回数	コロナ禍による中止	1 回	



(常設展示)



(体験教室)

②環境に関する学習の推進

No.	事業名	涸沼水鳥・湿地センター	担当課	生活環境課
74	事業概要	環境保全に関する普及啓発や学習、団体活動の拠点機能を中心とする展示施設と、野鳥の観察や涸沼を展望する機能を重視した観察施設を活用し、ラムサール条約登録湿地である涸沼について、「保全と再生」、「賢明な利用」、「交流と学習」について取り組む。		
	事業内容等	併設する公園は、昆虫や水生生物、植物観察が可能であり、併せて国の水鳥・湿地センターでの野鳥観察が可能となるため、野鳥愛好家の利用をはじめ児童の環境学習や課外授業の場に活用していく。		
新規	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	公園来場者数	—	37,000 人	

No.	事業名	3R 促進事業	担当課	生活環境課 鉾田クリーンセンター
75	事業概要	3R の促進により資源のリサイクル化を図り、環境負荷の少ない循環型社会の確立に向け、市民の環境意識の高揚及び自発的活動を推進する。		
	事業内容等	広報誌やイベントによるチラシの配布、ホームページ等の活用により、ごみの分別の徹底やリサイクルの推進に向けた情報を積極的に提供する。市民一人ひとりのライフスタイルの見直しに向けた環境教育の推進、意識啓発に努める。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	年間ごみ総排出量	12,459 トン/年	11,533 トン/年	

No.	事業名	水辺環境の学習	担当課	生活環境課
76	事業概要	水辺環境に係る意識向上、自主的な水質浄化実践活動を促進するための学習機会を提供する。		
	事業内容等	鹿島灘海浜公園や北浦、いこいの村涸沼、(仮称) 涸沼水鳥・湿地センターなどで、環境学習に関する資料の展示や学習会の開催などを行い、水辺環境学習機会の提供数を増やしていく。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	環境学習機会提供数	3 件	8 件	

No.	事業名	温室効果ガス排出抑制事業	担当課	生活環境課
77	事業概要	銚田市全域の温室効果ガスの削減に向けた、啓発活動を実施していく。		
	事業内容等	令和3年度に市の施設の温暖化対策実行計画を策定。令和4年度に銚田市全域の温室効果ガスの削減に向けた目標値を設定する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	温室効果ガス削減率 (基準年度：H25)	12%	36%	

No.	事業名	霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦	担当課	生活環境課
78	事業概要	北浦沿岸の清掃活動を通して、水質浄化の意識高揚を図る。		
	事業内容等	北浦及び流入河川沿いの13地区ときたうら広域漁業協同組合の協力により沿岸のごみ拾いを行い、水質浄化の意識高揚を図る。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施回数	2回/年	2回/年	

No.	事業名	洄沼流域クリーン作戦	担当課	生活環境課
79	事業概要	洄沼沿岸の清掃活動を通して、水質浄化の意識高揚を図る。		
	事業内容等	洄沼及び流入河川沿いの市町村、民間事業者、住民の協力により沿岸のごみ拾いを行い、水質浄化の意識高揚を図る。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	事業啓発活動	2回	3回	

No.	事業名	環境美化運動（ごみゼロの日）	担当課	生活環境課
80	事業概要	地域の清掃活動を通して、環境美化の意識高揚を図る。		
	事業内容等	年2回市内全域で道路沿いのごみ拾いを行い、環境美化の意識高揚を図る。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施回数	2回/年	2回/年	

No.	事業名	花いっぱい運動	担当課	生涯学習課
81	事業概要	各種団体などが行う花壇づくりを通して、地域の環境美化活動を推進する。 花いっぱい運動の啓発を行うとともに、種子の配布や、花いっぱいコンクールを実施し、地域の自主性を活かし、より効果的な地域コミュニティの輪を広げる機会の創出を支援する。		
	事業内容等	花いっぱいコンクールを実施する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	コンクール参加団体数	18 団体	19 団体	



(花いっぱい運動)



施策 2 社会参加・地域活動の促進

①各種学習団体活動の支援と連携

No.	事業名	青少年市民団体への支援	担当課	生涯学習課
82	事業概要	青少年育成活動を総合的に推進するため、青少年市民団体と連携を取りながら支援を行う。		
	事業内容等	青年の主張大会や、あいさつ・声かけ運動などを開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	登録会員数	7,688 人	7,630 人	



No.	事業名	地域女性団体連絡会への支援	担当課	生涯学習課
83	事業概要	会員相互の親睦を図り、教養を高め、明るく豊かな地域づくりに寄与することを目的として実施する活動などを支援する。		
	事業内容等	ボランティア活動や子育て支援事業などを実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	登録会員数	102 人	102 人	

No.	事業名	子ども会育成連合会への支援	担当課	生涯学習課
84	事業概要	子ども会活動を支援するため、子ども会育成連合会と連携を取りながら子ども会活動を支援する。		
	事業内容等	わくわく体験事業や球技大会、絵画コンクールなどを実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	子ども会登録者数	1,520 人	1,520 人	



(わくわく体験事業)



(球技大会)

No.	事業名	PTA 連絡協議会への支援	担当課	生涯学習課
85	事業概要	市内小・中学校単位 PTA 相互の連絡提携を図り、教育に関わる活動の振興と教育の発展に寄与する活動を支援する。		
	事業内容等	指導者研修会や、親睦球技大会などを実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	登録会員数	2,688 人	2,600 人	

No.	事業名	市民協働推進事業	担当課	まちづくり推進課
86	事業概要	市民が互いに支え合う地域社会の形成に向け、自主性のある市民活動を支援する。		
	事業内容等	市民協働を担う団体・組織への活動支援を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	協働のまちづくり補助金交付団体数 (延人数)	1 団体	18 団体	



②ボランティア活動の推進

No.	事業名	支援ボランティア養成事業	担当課	生涯学習課 社会福祉協議会
87	事業概要	地域・行政・学校の協働のまちづくりの推進を目指し、ボランティア人材バンクの整備・充実を図る。ボランティア登録者が、市の主催するイベントや学校支援活動などで活発に活動できるよう推進する。		
	事業内容等	リーダーズクラブ（高校生会）の整備と活動支援を行う。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	リーダーズクラブ 登録者数	—	25人	



No.	事業名	ボランティア活動センター事業	担当課	社会福祉協議会
88	事業概要	ボランティア情報の収集と発信、ボランティアコーディネート業務やボランティアに関する学習、研修の場、交流の場としての機能の充実を図る。		
	事業内容等	ボランティア活動センターの運営とボランティア実践者への支援を行う。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	ボランティア登録者数	941人	1,000人	

No.	事業名	ボランティア講座	担当課	社会福祉協議会 生涯学習課
89	事業概要	講習会を実施し、ボランティアの人材発掘及び福祉活動の啓発を行う。また、点字、手話、音訳、傾聴や災害等の講習会を実施し、人材の発掘と資質の向上を図る。		
	事業内容等	ボランティア講習を開催する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	参加者数（延人数）	15人	80人	

施策3 暮らしに関する学習機会の提供

① 安全・防災意識の啓発

No.	事業名	交通安全の啓発・交通安全教室	担当課	教育総務課 指導課 各学校
90	事業概要	児童生徒一人ひとりが、「自分の身は自分で守る」という意識をさらに高め、日常生活に潜む危険を理解するとともに危機回避能力を身に付けるため、年齢に応じた対策についての講話や体験学習を実施する。		
	事業内容等	交通安全教室を開催する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	実施校数	14校 4園	8校 4園	



No.	事業名	原子力広報・啓発事業	担当課	まちづくり推進課
91	事業概要	原子力に関する正しい知識の普及啓発を行うことで、地域住民の不安軽減を図る。		
	事業内容等	原子力に関する基礎講座や原子力関連施設の見学会を実施。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	講座受講後の原子力に対する不安軽減度	81%	85%	

No.	事業名	自主防災組織育成等事業	担当課	総務課 危機管理室
92	事業概要	自主防災組織必要性や役割について理解を深めていただき、地域防災リーダーを育成支援し、地区単独でも防災訓練等が実施できるように組織の確立を目指し、日頃から防災・減災について周知啓発等を行い、地域防災力の強化を図る。		
	事業内容等	説明会や防災訓練を実施する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	説明会・防災訓練開催回数	—	1回	

No.29	事業名	防災訓練【再掲】	ページ	P.16
-------	-----	----------	-----	------

No.73	事業名	文化財警防訓練【再掲】	ページ	P.36
-------	-----	-------------	-----	------

② 賢い消費者づくりの推進

No.	事業名	消費者行政推進事業	担当課	商工観光課
93	事業概要	消費生活に関する各種情報の収集・提供、消費生活相談の適切な処理及び事業者指導を実施し、市民の消費者被害の防止・救済と消費者意識の向上を図る。		
	事業内容等	消費生活に関する情報啓発活動を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	消費生活情報啓発活動	10回	14回	

No.	事業名	消費生活相談	担当課	商工観光課
94	事業概要	消費者の安心安全な生活を守るため、関係機関と連携を密にし、消費者生活センターを中心に相談体制を整える。		
	事業内容等	銚田市消費生活センターの運営を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	相談件数 (延人数)	170人	200人	

No.	事業名	消費生活出前講座	担当課	商工観光課
95	事業概要	安心した暮らしに必要な学習の機会として、消費生活に関する講演を行う。		
	事業内容等	消費生活に関する講座を開催する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	開催回数	コロナ禍による中止	4回	



③人権教育・啓発の推進

No.	事業名	人権・同和問題の啓発	担当課	社会福祉課
96	事業概要	市民一人ひとりの人権意識を高め、人権への理解を深めてもらう機会の創出。		
	事業内容等	人権・同和問題の差別解消に向けた人権啓発キャンペーンの実施や情報発信（HP、SNS等）の充実を図る。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	人権啓発キャンペーンの実施回数	コロナ禍による中止	1回	

No.	事業名	人権教育推進事業（人権講演会）	担当課	生涯学習課 社会福祉課 教育総務課 総務課
97	事業概要	一人ひとりが、同和問題や女性、子ども、高齢者、障害者などに関するさまざまな人権課題に対して正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚と差別の解消を図るため人権問題に関する講演会を開催する。		
	事業内容等	多様化、複雑化する人権問題に即した講演会を実施する。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	人権講演会	コロナ禍による中止	1回/年	

No.	事業名	人権教育啓発活動	担当課	生涯学習課 社会福祉課
98	事業概要	社会教育における人権に関する学習活動を推進するため、人権に関する啓発活動、学習の機会の提供を行い、意識の高揚を図る。		
	事業内容等	児童生徒の描いた人権啓発ポスターを生涯学習館や各公民館に展示し、来館者の人権感覚の育成を図る。職場内研修を行い、人権意識の高揚を図る。人権問題啓発ビデオの貸出し。		
継続	指 標	現状値（R3）	目標値（R9）	
	人権ポスターの展示	3会場	4会場	



No.	事業名	認知症サポーター養成事業	担当課	介護保険課
99	事業概要	認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を図る。		
	事業内容等	認知症の基礎知識、認知症の方と接するときの心構え、声かけ・対応の仕方等の講座を実施。受講者には認知症への理解を深めた目印として「オレンジリング」又は「サポーターカード」を配布。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	養成人数	315 人	500 人	



(オレンジリング)



(サポーターカード)



④男女共同参画社会の推進

No.	事業名	男女共同参画推進事業	担当課	まちづくり推進課
100	事業概要	男女共同参画意識の醸成に向け、継続的で効果的な啓発・情報提供を行う。性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、その能力と個性を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の形成を図る。		
	事業内容等	パパ・ママ感謝の日運動、講演会の開催やパンフレットの配布等により意識啓発や情報提供を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	講演会等の参加者数	351人	500人	



基本目標4 市民の学びと情報をつむぐ

【現状と課題】

- 生涯学習社会の形成には、学習の成果を発表したり、社会生活や職業に活かしたり、また、その成果を地域社会の中に還元していくことで、学習への意欲が一層高まることにつながります。活動の成果を多くの人に見てもらい、また、発表を通して多くの人と交流することによって新たな仲間の増加にもつながるよう努めることが必要です。生涯学習で学んだ成果を多くの人に発表する機会の充実に努めます。
- 多様化、高度化、専門化する生活ニーズに対応するため、相談体制の一層の充実に努めると共に、市民が自分に適した学習を、いつでも、どこでも、必要とする情報を得ることができるよう、学習情報提供の充実に努めます。
- 市内には生涯学習関連施設として、公民館（鉾田中央公民館、旭公民館、大洋公民館）や、図書館、生涯学習館、体育施設（鉾田総合公園、旭スポーツセンター、くぬぎの森スポーツ公園ほか）などがあります。しかし、多くの施設は老朽化が進み、また、利便性や活動の制限などについて、多くの市民から改善や要望が求められている状況です。市民の生涯学習活動を支えるために、生涯学習施設の整備は重要な課題です。身近な公共施設の利用を通じて、より多くの人々が生涯学習へ関心が持てるよう、施設の効果的・効率的な維持管理と運営に努めます。

【施策の方向性】

- 生涯学習で学んだ成果を活用して、発表する機会や生涯学習の指導ボランティアとして活躍できる場などの機会の提供に努めます。
- 関係機関と連携し市民の生涯にわたる学習などに関する相談にいつでも応じられるよう、相談体制の充実に努めます。
- 行政や民間から発信されている生涯学習に関する情報を把握し、分かりやすく提供することに努めます。
- 市民の生涯学習の広がりや多様化する学習要望に応えるため、他機関との連携を図ります。
- 公共施設を生涯学習の拠点として位置づけ、施設の管理について検討しながら、利用促進を図ります。
- 生涯学習関連の公共施設の整備に努めるとともに、利便性の向上や効率的な運営を目指します。
- 生涯学習環境の一層の充実に向けて、先進的な情報の発信や市民同士の交流を図るため、施設の維持整備と拠点づくりに努めます。
- 市民の多様な学習・読書ニーズに対応した蔵書の充実に努めるとともに、図書館の利活用の取り組みを進め、読書人口の拡大と学習拠点としての機能の充実に努めます。

【具体的な取組】

施策1 成果を活かす機会の充実

①学習成果の活用や発表の場の提供

No.	事業名	公民館利用者活動発表会	担当課	公民館
101	事業概要	公民館で活動しているクラブ及び講座参加者の作品の展示・発表する機会を提供する		
	事業内容等	市内3カ所の公民館でそれぞれ活動しているクラブ及び講座参加者の作品の展示や発表する機会を提供する。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	クラブ数	124 団体	124 団体	

No.39	事業名	図書館展示【再掲】	ページ	P.20
-------	-----	-----------	-----	------

No.45	事業名	公民館クラブ活動の支援【再掲】	ページ	P.22
-------	-----	-----------------	-----	------

No.60	事業名	シルバーリハビリ体操の推進【再掲】	ページ	P.29
-------	-----	-------------------	-----	------

No.69	事業名	銚田市美術展覧会【再掲】	ページ	P.33
-------	-----	--------------	-----	------



施策2 相談体制と学習情報提供の充実

①相談体制の充実

No.	事業名	青少年相談員活動事業	担当課	生涯学習課
102	事業概要	青少年の健全育成推進のため相談活動や街頭活動を行い青少年対策の総合的な推進を図る。		
	事業内容等	青少年の福祉を害する犯罪の発見通報や環境浄化活動を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	あいさつ・声かけ運動実施回数	7回	5回	

No.	事業名	地域包括支援センター運営事業	担当課	介護保険課
103	事業概要	高齢者を対象とした総合相談窓口を設置し、高齢者に関する相談を受け、適切な医療機関・制度・サービスにつなぐ等、相談体制の充実を図る。		
	事業内容等	地域包括支援センターで相談を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	相談件数	1,257件	1,600件	

No.1	事業名	子育て世代包括支援センター【再掲】	ページ	P.8
------	-----	-------------------	-----	-----

No.2	事業名	地域子育て支援センター【再掲】	ページ	P.8
------	-----	-----------------	-----	-----

No.9	事業名	さくらんぼ教室【再掲】	ページ	P.10
------	-----	-------------	-----	------

No.10	事業名	たんぽぽ教室【再掲】	ページ	P.10
-------	-----	------------	-----	------

No.59	事業名	医療情報の提供【再掲】	ページ	P.29
-------	-----	-------------	-----	------

No.94	事業名	消費生活相談【再掲】	ページ	P.44
-------	-----	------------	-----	------



②生涯学習情報の提供

No.	事業名	広報誌やホームページによる 情報提供	担当課	政策秘書課 関係各課
104	事業概要	広報紙やホームページによる生涯学習関連事業のリアルタイムな住民への周知に努める。さらには、現在の情報化社会を見据えて、紙媒体の情報発信から、SNS やアプリなど電子媒体を使用した情報配信を行い、リアルタイムな情報提供に努める。		
	事業内容等	広報ほこた、ホームページ、SNS 等による情報配信を行う。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	市民満足度	36.6%	50.0%	



No.	事業名	行政と地域の連携	担当課	生涯学習課 公民館
105	事業概要	行政と市民・地域が連携し、生涯学習活動の充実と、市民活動の活性化を推進する。		
	事業内容等	社会教育団体や、市民団体等と連携し、青少年の健全育成、市民の生きがいづくり等の学習の機会の提供を行い、情報交換・連携を図る。		
継続	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	支援団体数	9 団体	9 団体	

No.48	事業名	県・鹿行生涯学習センターとの連携【再掲】	ページ	P.23
-------	-----	----------------------	-----	------

施策3 生涯学習関連施設の充実

① 既存施設の有効活用と運営の充実

No.	事業名	公民館維持管理事業	担当課	公民館
106	事業概要	文化振興を図るとともに市民一人ひとりへの学習機会づくり、生涯を通じて「学ぶ」体制づくりに努める。		
	事業内容等	銚田中央公民館、旭公民館、大洋公民館における施設及び設備等を良好に維持するため保守点検・修繕を実施する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数	21,077 人	40,000 人	

No.	事業名	図書館維持管理事業	担当課	図書館
107	事業概要	生涯学習の拠点施設として、快適に利用できるよう館内外の環境整備に努める。		
	事業内容等	定期的な施設の保守点検を実施するとともに、施設の修繕及び設備の更新を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	入館者数	34,079 人	45,000 人	

No.	事業名	生涯学習館管理運営事業	担当課	生涯学習課
108	事業概要	市民・地域との協働・連携をし、社会教育事業をはじめとする各種事業への円滑な推進及び効率的な事業を行う拠点づくりを目指す。		
	事業内容等	生涯学習の拠点になるように学習・展示棟の維持管理を行う。 地元ボランティアによる花壇の整備や草刈り等の環境美化。 市民ボランティアによる史料整備や展示協力、企画展の実施。 昔の遊びを通して親子の触れ合いの場を提供する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数	170 人	3,000 人	

No.65	事業名	体育施設管理事業【再掲】	ページ	P.31
-------	-----	--------------	-----	------

No.66	事業名	学校施設の開放【再掲】	ページ	P.32
-------	-----	-------------	-----	------

②生涯学習関連施設の充実

No.	事業名	地区学習等供用施設の管理事業	担当課	まちづくり推進課 生涯学習課
109	事業概要	地域の学習活動やコミュニティ活動の拠点として、市民に広く利用されるよう施設の保全と維持管理及び施設の機能充実を図る。市民の学びを支援できる学習環境の整備を行う。		
	事業内容等	地区学習等供用施設の適正な維持管理を行う。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	修繕要望等への対応率	100%	100%	

No.	事業名	学校跡地利活用事業	担当課	まちづくり推進課
110	事業概要	地域資源を活用した生涯学習の活性化を図るため閉校小跡地の活用を進める。		
	事業内容等	市民の生涯学習活動の拠点の一つであった小学校の閉校が進んでいることから、市民が活動できる場として、中学校区ごとに概ね1か所の閉校小学校体育館を活用する。		
継続	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	閉校小地域活用数	1校	4校	



No.	事業名	(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業	担当課	まちづくり推進課
111	事業概要	市民活動の活性化を促し、幅広い世代の市民が集まり活動でき、観光資源などの魅力を発信し、地場産業の認知度向上、産業活性化を図り賑わいと活気にあふれる「未来ステーション」として整備する。		
	事業内容等	子育て支援機能、情報発信機能、コミュニティ活動機能を複合的に備えたコミュニティセンター及び多目的広場機能を整備する。		
新規	指 標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	
	利用者数	—	20,000人	

第4章 計画の推進体制と進捗管理

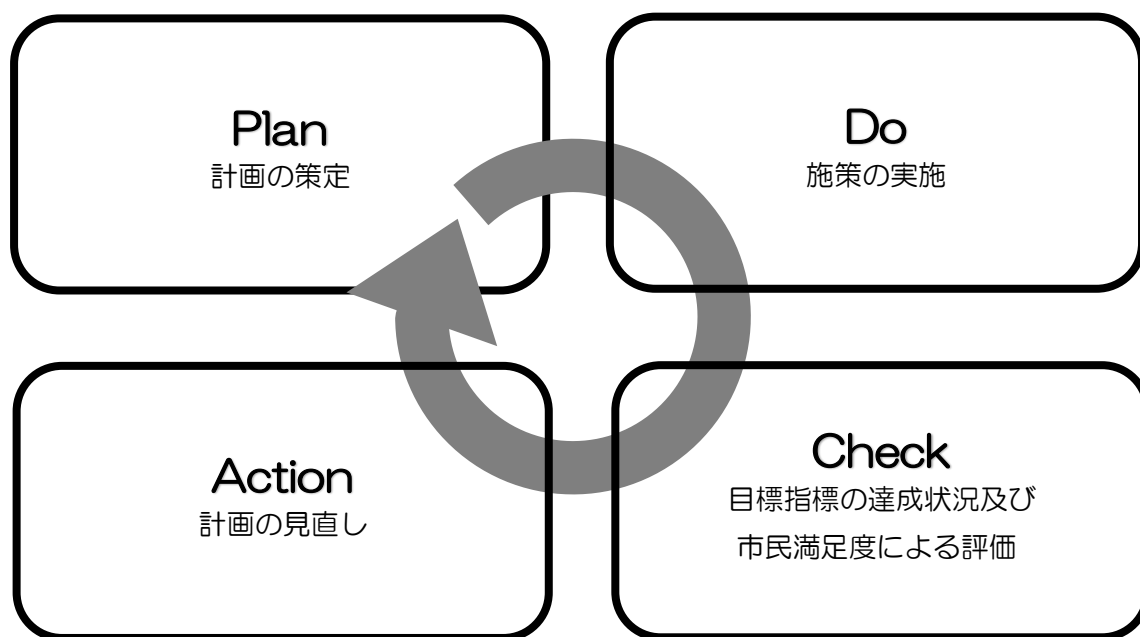
1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民一人ひとりが、学びたいときに学び、それを活かし、つないでいくことができよう、生涯学習に取り組みやすい環境の整備、支援体制の構築などを行い、市民を支援していくことが必要です。

市民の主体的な生涯学習活動への支援を行うために、関係部局との連携を強め、関係機関との調整を図り、本計画を効果的かつ効率的な推進に努めていきます。

2 計画の進捗管理

本計画に推進にあたっては、各施策の進捗状況を把握し、Plan（計画の策定）、Do（施策の実施）、Check（施策の評価）、Action（検討・改善）によるPDCAサイクルにより、適正な進捗管理を行います。



資料編

1 銚田市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱

(設置の目的)

第1条 生涯学習の必要な事項を調整・協議し銚田市における総合的かつ計画的な生涯学習推進を図ることを目的として、銚田市生涯学習推進計画（以下「推進計画」という。）を策定するため、銚田市生涯学習推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 生涯学習推進計画策定についての方針
- (2) 推進計画の策定に関する事項

(構成)

第3条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

- 2 委員長には教育長を、副委員長には教育部長を充てる。
- 3 委員長は、策定委員会の会務を総括し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けるときはその職務を代理する。
- 5 委員は、別表1に掲げる職にあるものを充てる。

(ワーキングチーム)

第4条 策定委員会の補助機関としてワーキングチームを置く。

- 2 ワーキングチームは生涯学習に関係する各課等の課長補佐職にあるものをもって構成する
- 3 ワーキングチームは委員長の命を受けて各課等の連絡調整並びに情報収集等策定委員会の事務に従事する。
- 4 ワーキングチームの会議は、必要に応じ招集する。

(事務局)

第5条 策定委員会の事務局は生涯学習課に置く。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年7月25日から施行する。

別表1（第3条第5項）

教 育 長	政 策 企 画 部 長	総 務 部 長	環 境 経 済 部 長
福 祉 保 健 部 長	福 祉 事 務 所 長	教 育 部 長	教 育 総 務 課 長
指 導 課 長	生 涯 学 習 課 長		

2 銚田市生涯学習推進計画策定員委員名簿

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	安原 優	教育長
副委員長	飯島 洋一	教育部長
委 員	岡崎 正元	政策企画部長
委 員	小沼 喜勝	総務部長
委 員	鬼沢 良一	環境経済部長
委 員	関谷 公律	福祉保健部長
委 員	小松寄 智幸	福祉事務所長
委 員	関田 潜二	教育総務課長
委 員	宮内 孝浩	指導課長
委 員	桜井 治	生涯学習課長

第3次鉾田市生涯学習推進計画【改訂版】

発行日：令和5年3月

発行：鉾田市教育委員会

所在：茨城県鉾田市造谷605番地3

電話 0291-37-4342

FAX 0291-37-3185